

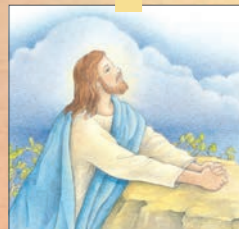


だい かん ちょう かい だい に こ ち ん
大 管 長 会 第 二 顧 問
ヘ ン リー ・ B ・
アイ リ ン グ 管 長

あかし と モルモン書

わたしはたとえ数行であろうと
モルモン書を読む度に、
あかしが強まるのを感じます。
この書物が真実であり、
イエスがキリストであられ、
主に仕たがうならば神のみもとに
帰ることができるというあかしです。
モルモン書はわたしにとってどの書物にも勝って
かちある書物です。
モルモン書はまさに神の言葉です。

このお話は、「個人の導き手としてのモルモン書」
『リアホナ』2010年9月号、4-5をもとに書かれました。



自分自身のあかし

あかしは、何かがあかしたと告げる、せいれいからの良い気持ちです。あなたは小さいからといって、あかしを持ってないわけではありません。言葉の書かれた紙を切って、ポウルかびんの中に入れ、毎日一つずつ選べるようにします。心にあかしを感じたら、そのあかしについてだれかに話しましょう！

「救い主の愛」
（『子供の歌集』42-43）を歌う。

「ゲツセマネ」（『リアホナ』2018年3月号、
74-75）を歌う。

神殿の写真を見る。

ラッセル・M・ネルソン大管長の話をきく。

イエス様の絵を見る、または
イエス様についての聖書ビデオを見る。

せいれいから感じる気持ちに耳をかたむける。
天のお父様にいのり

「キリストの言葉をよく味わうように〔しなさい〕。……キリストの言葉はあなたがたがなすべきことをすべて告げる……。」（2ニーファイ32：3）

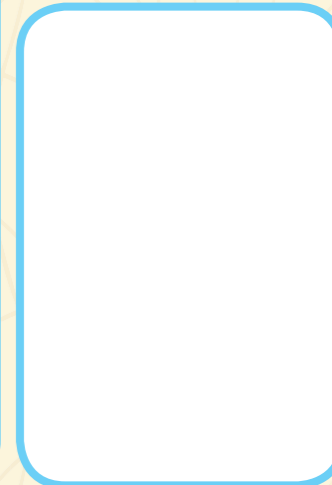
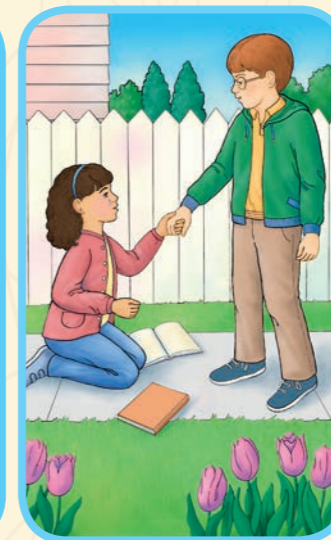
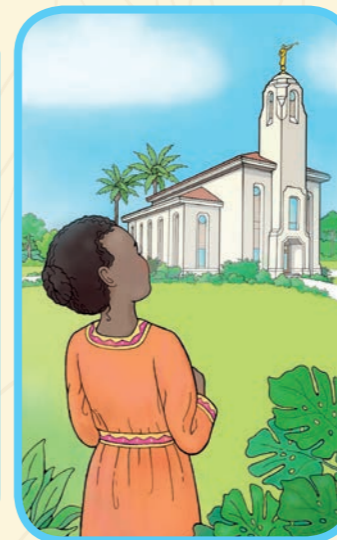
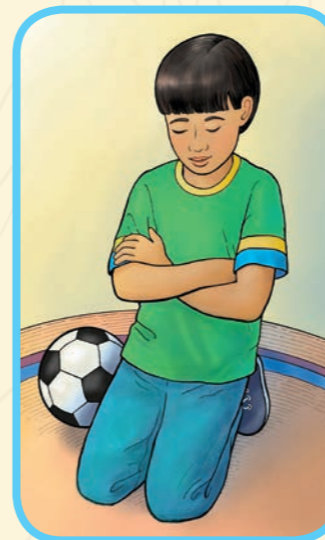
せいれいを感じる時……

天のお父様に
いのるとき。

神殿について
考えるとき。

人を
助けるとき。

せいれいから
あかしを感じたことは
ありますか。



イラスト/ベス・ホイッタカ